

「令和4年度シーニックバイウェイ北海道セレモニー」の開催

シーニックバイウェイ北海道推進協議会は、令和4年12月22日に開催された『第20回シーニックバイウェイ北海道推進協議会』において審議された「包括連携協定締結式」、「新規ルート指定及び登録 認定証授与式」、「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2021表彰式」等について、下記のとおり開催いたします。

記

日時 令和5年3月13日（月）15:00～17:00

場所 札幌第一合同庁舎 2階 講堂（札幌市北区北8条西2丁目）

式典

- (1) 包括連携協定締結式
- (2) 新規ルート指定及び登録 認定証授与式
- (3) ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2021表彰式
- (4) その他

取材 取材を希望される報道関係者の方は、メールにて報道機関名、氏名、電話番号及びカメラ撮り希望の有無を3月10日（金）15:00までにご連絡願います。
取材希望の連絡先：scenicbyway@decnet.or.jp

※新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策としてマスクの着用、3密の回避、消毒液の設置などを実施いたします。

【シーニックバイウェイ北海道とは・・・】

みちをきっかけに地域と行政等が連携し『美しい景観づくり』『活力ある地域づくり』『魅力ある観光空間づくり』を目的に地域ごとに特色のある様々な活動が進められ、全道で指定14ルート、候補3ルートの約500の団体が活動しています。

シーニックバイウェイ北海道推進協議会は、シーニックバイウェイ北海道に関する取組の企画及び立案並びに推進、候補ルートの指定や制度運営に関する各種決定・改善・支援を行い、持続的かつ効果的に活動できる環境に関する調査・研究を行う役割を担っています。

詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会ホームページを参照ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g700000nOut.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 道路計画課 道路調査官 松本 一城（内線 5353）

開発監理部 開発連携推進課 開発企画官 瀬能 博之（内線 5433）



北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>

北海道遺産協議会との包括連携協定について(シーニックバイウェイ北海道)

- **シーニックバイウェイ北海道**は、景観・シーンの形容詞「シーニック」と、わき道・より道を意味する「バイウェイ」を組み合わせた言葉で、**地域に暮らす人が主体**となり、**企業や行政と協力し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり及び観光空間づくり**を推進
- **北海道遺産**は、豊かな自然はもちろん、北海道に生き、暮らしてきた人々の**歴史や文化、生活、産業**など、**次の世代へ大切に引き継ぎたい有形・無形の財産**の中から**道民参加で選んだもの**(平成13年10月に第1回選定分25件、平成16年10月に第2回選定分27件、平成30年11月に第3回選定分15件、令和4年10月に第4回選定分6件と名称変更1件が選定され、**現在74件が選定**)
- **シーニックバイウェイ北海道ルートに関連する遺産：41件**
稚内港北防波堤ドーム(稚内市)、天塩川、旭橋(旭川市)、小樽みなとと防波堤(小樽市)、昭和新山雪合戦(壮瞥町)、五稜郭と箱館戦争の遺構(函館市)、旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋梁群(上士幌町)など

今回の協定の概要

NPO法人北海道遺産協議会



北海道遺産
Hokkaido Heritage

- 2001年の発足以来、地域の担い手・企業・行政と連携した遺産の保全活用 of 取組み
- 地域を支援する仕組み(「ほっかいどう遺産WAON」)
- 道内外の専門家等ネットワーク



稚内港北防波堤ドーム



天塩川



旭橋



小樽みなとと防波堤

シーニックバイウェイ北海道



HOKKAIDO®

- 北海道の景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活用した取組
- 地域の住民、NPO、企業、行政等多様な主体が一体となった推進体制
- 全国的なネットワーク(日本風景街道)等



地域資源を活かした取組



多様な主体の連携による取組



包括連携協定に基づくより一層の連携した取組により北海道の地域の未来に貢献

連携テーマ

- PR: それぞれの取組の中で積極的に遺産やルートの紹介を行う(イベント時の連携等)
- 教育: 子供たちが地域の成り立ち(地域遺産、インフラ等)を学ぶ学習機会の提供※
- 観光: インフラツーリズム、ヘリテージツーリズムの取組

※NPO法人ほっかいどう学推進フォーラムとの連携

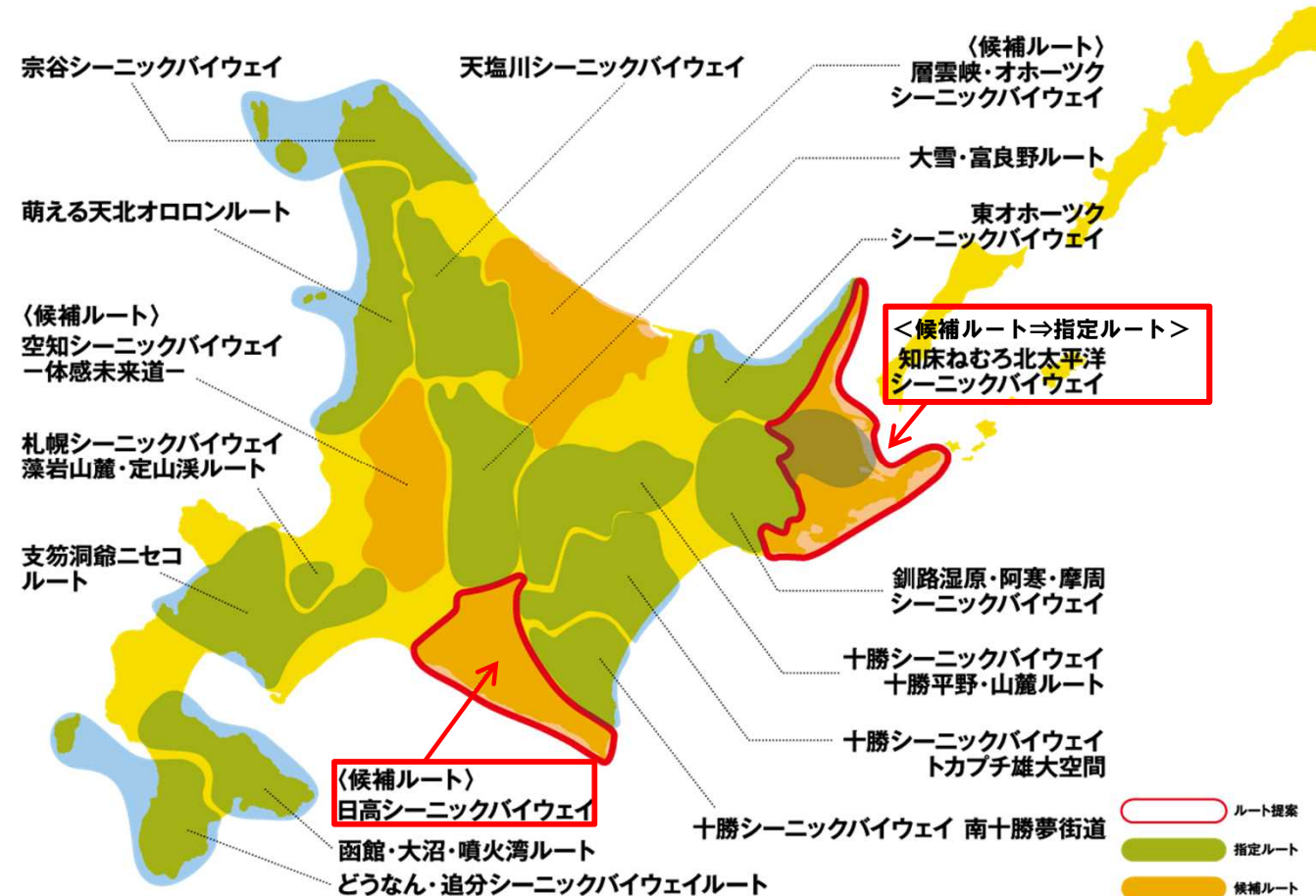
指定及び候補ルートへの審議



Scenic Byway HOKKAIDO

令和4年9月29日ルート審査委員会にてルート指定・候補の推薦に関する審査を行った。

ルート名称	代表者名	代表者の所属	構成団体数	関係市町村数
<提案:候補→指定ルート> 知床ねむろ北太平洋 シーニックバイウェイ	遠藤 修一 (えんどう しゅういち)	大地みらい信用金庫 理事長	27	8
<提案:候補ルート> 日高シーニックバイウェイ	工藤 仁 (くどう ひとし)	様似町商工会	31	7



▼ルート登録状況

候補登録年月日	指定年月日	ルート名称
—	H17.05.09	支笏洞爺ニセコルート
—	H17.05.09	大雪・富良野ルート
—	H17.05.09	東オホーツクシーニックバイウェイ
—	H18.04.18	宗谷シーニックバイウェイ
H17.05.09	H18.11.13	函館・大沼・噴火湾ルート
H17.05.09	H18.11.13	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
H18.04.18	H20.05.12	萌える天北オロロンルート
H18.04.18	H21.05.13	十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
H20.05.12	H22.05.17	十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
H18.04.18	H23.07.29	十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道
H21.05.13	H23.07.29	札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート
H20.05.12	H27.12.21	どうなん・追分シーニックバイウェイルート
H25.06.24	H29.10.24	天塩川シーニックバイウェイ
H25.06.24		層雲峡オホーツクシーニックバイウェイ
H30.11.05		空知シーニックバイウェイ-体感未来道-
R01.09.20		知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ
		日高シーニックバイウェイ

- シーニックバイウエイ北海道推進協議会は、シーニックバイウエイ北海道の活動の3要素「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」に資する活動で、他の模範となり、将来への発展性が高く評価できる活動を選出・表彰する取り組みとして「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト」を平成20年度から実施。
- 表彰は、活動団体の投票で選出する【活動団体賞】、有識者委員の審査を経て選出する3つの【部門賞】及び各部門賞から最も優秀な活動を【最優秀賞】として決定・表彰。

2022年12月22日 第20回推進協議会にて決定

〈最優秀賞〉 〈活動団体賞〉
〈活力ある地域づくり賞〉



～知らなきゃ損！2人目が無料～「ふたりぼっちパスポート」事業
十勝シーニックバイウエイ トカプチ雄大空間



〈美しい景観づくり賞〉

部門賞

～地域の“人”と“活動”にフォーカスして“想い”を伝える～
QRコードを活用した地域情報の受発信プロジェクト
支笏洞爺二セコルート



〈活動団体賞〉

団体賞

地元高校と連携した空港看板製作による地域愛の育成
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ



〈魅力ある観光空間づくり賞〉

部門賞

道の駅「摩周温泉」駐車場の利用環境向上
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ

